

第5学年 社会科学学習指導案

令和元年(2019)11月6日 (水)

鳴門撫養小学校5年 (42名)

指導者 明治学院大学非常勤講師(元筑波大学附属小学校教諭・副校長)長谷川康男

1 小单元名 工業生産を支える貿易や運輸～大单元「我が国の工業生産」の第3次～

2 小单元について

(1) 本单元の位置づけ

本单元は、学習指導要領第5学年「内容(2)ア(ウ)「貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売において、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること」、イ(ウ)「交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること」に基づいて設定した。

新小单元「貿易と運輸」は、今までのように自動車のそればかりではなく、我が国全体の貿易と運輸について捉えること、その際、海運の果たす重要な役割もおさえることが改訂の趣旨である。従って、本小单元「貿易や運輸」は、工業生産を支える重要な働きと役割を果たしていることを、運輸全般のことと貿易とを関係づけて理解させることをねらいとしている。

(2) 児童の実態 略。

3 研究主題と单元展開の工夫

研究主題と研究仮説、目指す子ども像を、次のように設定した。

◎研究主題

子どもに貿易における海上輸送の仕事の様子を捉えさせ、その働きや役割は、日本の国や人々の生活にとってなくてはならない重要なことであるという認識を確かにしたり、深めたりさせるには、どのような授業を展開したらよいだろうか？

新单元である「貿易と運輸」の授業は、グラフや表の読み取りを中心とした表面的な認識中心の静的な授業が展開されやすい。いわゆる、働く人の顔や汗、努力や工夫が見えない授業で、子らの関心を引きにくい無味乾燥な授業に陥りやすい。勢い、子どもは受け身的で、およそ目指す主体的・対話的で深い学びになりそうもない。また、海の仕事というと、子どもたちはすぐに漁師さんを思い浮かべ、なかなか海での運輸の仕事、例えば、船長、航海士、機関長、機関士、甲板員など船を安全に正確に動かし、日本の物資輸送を支えている仕事には目が向きにくい。

本小单元は、これらの授業スタイルや子どもの認識を覆し、働く人の顔の見える、しかも子どもが自ら学習問題を発見し、主体的、意欲的に解決に向けて追究していくような授業を展開したい。もちろんそこでは、貿易を通して海での運輸で働く人や仕事と、その働きや役割に子どもが興味をもって目を向け、その働きや役割の大切さを認識していくような授業を目指したい。

◎仮説

そこで、次のような研究仮説を設定し、本小単元の導入・問題設定、それに続く追究の授業を工夫したい。

海で働く人や仕事と、その働きや役割に対しての子どもの認識を新たにするような教材・資料を提示し、そこに学習問題を発見させ、自力で追究できるように支援すればよいだろう。

具体的には、貿易や運輸という教材がもっている面白い事実を分かり易く提示したい。それは、子どもばかりでなく大人も想像を絶する船の大きさ、船で運搬する物資のものすごい量、貿易における船による海上輸送の比率の巨大さ、荷物に合わせた多種多様な運搬船、自分たちの生活とはかけ離れた船上での船員の仕事や生活ぶりなどである。

その中から、子どもの想定を超える“驚くべき事実”を見える化した分かり易い資料で、子どもの興味・関心を引き、そこで感じたこと、疑問に思ったこと考えたことから学習問題を発見させ、問題解決に向かって主体的に追究していけるように仕組みたい。

◎本小単元で目指す子ども像

自分の感じ方、考えを大切にし、問題意識をもって、解決の予感を胸に粘り強く追究できる子

学びの主役は子ども自身である。子ども自身の感じ方、考え方を大切にし、子どものもった問題意識を大切にしたい授業を展開したい。学習問題発見場面は、前述した通りである。そこばかりでなく、自分の予想を資料で確かめる追究場面は解決のための資料の入手が子どもだけでは難しいところもあるので、自力解決できるように教師が側面から支援をしたい。つまり、自力解決に必要な資料が、子どもの独力では入手不可能な場合、教師が用意し、子どもが必要を感じたら手に入れる方法を教えるとか手渡すとかして支援したい。

そうすることによって、子どもの本性である「自分でやってみたい」「なんとかなるだろう、やってみよう」という主体的で楽観的な見方・考え方を土台とした追究活動を支援し、自力解決に向かわせたい。その結果、「なんとかできた」という問題解決力に少しでも自信をもたせられたら望外の幸せである。

4 小単元の目標

○社会的事象についての知識及び技能

- ・原材料や工業製品の輸出入の特色、その出荷には、海上輸送、航空輸送、陸上輸送など日本国内や世界の交通網が使われていることなどを基に、貿易や運輸で働く人の様子やその役割について理解できるようにする。
- ・地図や地球儀、統計資料や文章資料を読み取って調べ、情報をまとめることができるようにする。

○社会的な事象についての思考力、判断力、表現力等

- ・日本の貿易の運輸面での主役である海上輸送の様子から学習問題を発見し、貿易や運輸の社会的課題や役割について、工業生産における貿易や運輸の働きを外国との関わりと関連付けて追究し、そこで調べたことや考えたことを、文章で記述したり図に表したり説明したり話し合ったりできるようにする。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・貿易や運輸の様子に関心を持ち、学習問題を発見し、問題解決の見通しをもって追究したりまとめたりして主体的に関わったりすることができるようにする。

5 指導計画 (20 時間扱い) <大単元名「我が国の工業生産」>

第1次	日本の工業生産と工業地域の特色	6 時間
第2次	自動車をつくる工業	8 時間
第3次	本小単元「工業生産を支える貿易と運輸」 --- <本時 1/6> -----	6 時間
	・導入・問題設定(「船員さん達の仕事や生活、コンテナの輸入荷物」に関する学習問題を設定する) -----<本時>-----	1
	・自力解決(学習問題を各自、自力解決する) -----	2
	・協働解決(各自の解決を持ち寄り、発表し話し合い知識を共有する。そして、新たな問題「船での輸出製品は?」を設定する) -----	1
	・新たな問題「船での輸出製品は?」を自力解決、協同解決する -----	1
	・日本の貿易の特色と運輸 -----	1

6 本時の指導 (15/20)

(1) 本時の学習

本時は、既習の水産業の授業の時に知った漁船、自動車産業の時に知った自動車運搬船しか写真で見たことがない子供達に、貿易での物資運搬用の主役であるコンテナ船やそのコンテナの写真を見せ、その大きさ、運ぶ量の多さを実感させ、子供がその船の荷物や船員達の仕事や役割についてもっと知りたくなるように展開し、学習問題を発見させる場面である。また、時間が許せば予想を話し合わせ、調べ方を決めさせる場面でもある。

(2) 本時の目標

- コンテナ船の大きさや運ぶ量の多さ、乗り組み期間の長さに対する“驚き”から学習問題を発見している。また、その理由を考え、表現し、調べ方を決める。(思考・判断・表現)
- 貿易や海での運輸の主役、大黒柱であるコンテナ船、コンテナの荷物、それを運ぶ船員の仕事や役割に興味・関心をもって授業に参加する。(主体的に学びに取り組む態度)

(3) 展開

主な発問・指示・説明と資料	主な活動と期待される子供の反応	指導上の留意点
<p>1. (1) これは、何の写真ですか？</p> <p>資料① 普段のコンビニ (写真)</p> <p>(2) 輸入が止まったらコンビニはどうなるだろう？</p> <p>資料② 輸入が止まったときのコンビニ (写真)</p> <p>(3) もし輸入が止まったら家庭生活はどうなるだろう？</p> <p>資料③ エネルギーの元(石油、石炭、天然ガス)の輸入量 (円グラフ)</p> <p>(資料③参考) 公益財団法人日本海事広報協会「Shipping Now」2018-2019 より http://www.jpmac.or.jp/img/relation/pdf/2018pdf-p24-25.pdf</p> <p>2. (1) コンビニの食料とか石油、天然ガス、石炭は、何で(“乗り物”)運んでくるかな？</p> <p>(2) このような船で運びました。コンビニの商品などを積んで。</p> <p>資料④ コンテナ船 (写真)</p> <p>資料⑤ コンテナ1個 (写真)</p> <p>(3) 2万個のコンテナを縦に積みとどれ位の高さになるかな？</p>	<p>1. (1) 普段のコンビニの写真を見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニだ ・よく行くよ <p>(2) 輸入が止まったときのコンビニの写真を見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラーンとしていて何も無い ・輸入が止まるとこんなになっちゃうんだ <p>(3) 家庭生活に必要なエネルギーの元の石油の99.6、天然ガスの97.1、石炭の99.3%は輸入だ (2012年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料以上に輸入に頼っている ・家の中が真っ暗 ・普段できていることができない ・クーラーが止まると熱中症で命が危ない <p>※石油99.7、天然ガス97.6、石炭・鉄鉱石100% (2017年)</p> <p>2. (1) 何で運んでくるかを考え話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船だと思う。 ・貿易の99.7%が船なのか、すごく多い。 ・飛行機では重い物、多くの量は積めない。 <p>※2017年データでは99.6%</p> <p>(2) コンテナ船の大きさや運んでいる量を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の長さが400メートルもある。 ・一隻で約20万トンも運べるのか。 ・この船に積んでいるコンテナに商品を入れて運んでいるのか。 <p>(3) コンテナ1個の大きさを実感する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20フィートのコンテナの長さが6メートル2.4センチ、高さは2.6メートルもある。 	<p>・資料①と②のコンビニの写真を見比べて、日本は輸入が止まるとコンビニからほとんど商品がなくなることを認識させる。</p> <p>・エネルギーの元の石油、天然ガス、石炭は輸入に頼っていることを認識させる。</p> <p>・日本は輸入が止まると、コンビニの食料品、生活用品に限らず、電気を使った便利で快適な生活もできなくなることをおさえる。</p> <p>・子どもの反応を生かし多くの物資輸送は船が向いていることをおさえる。(貿易の99.7%は船、0.3%は飛行機)</p> <p>・輸入船舶の主役、大黒柱であるコンテナ船の大きさを認識させる。</p> <p>・コンテナの大きさを、教室に示しイメージさせる。</p>

<p>資料⑥ 富士山14個分(写真) 日本海事広報協会「ぼくとわたしのシップガイド」より https://www.kaijipr.or.jp/digitalbook/20160331/html5.html#page=21 (4) コンテナの中は、どうなっているかな?</p> <p>資料⑦ コンテナの中(写真)</p> <p>3. 船員さんは、コンテナ船のどこに乗っているのかな?</p> <p>資料⑧ コンテナ船(正面写真)</p> <p>資料⑨ 船員(写真)</p> <p>4. 学習問題を設定する (1) コンテナの中身は何か? 何を運んでくるのかな? (2) 船員さんはどれくらいの期間乗っているのだろう? 疑問に思ったことは何ですか? (3) どんな学習問題で勉強していこうか?</p> <p>資料⑩ ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この船にこんなに大きなコンテナが2万個載っているのか ・コンテナが富士山14個分の高さになる! ・一隻の2万個のコンテナだけで! <p>(4) コンテナの中の荷物に興味をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷物を10^トも積めるんだ ・中にはどんな商品を積んでいるのかな ・石油とか、冷凍食品は無理そう <p>3. 船員さん達の居場所を見つける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白いところかな? ・船員は、もっといると思う ・二人の船員(船長、三等航海士)のバッジが違う <p>4. 学習問題を設定する (4) コンテナで運んでくる物を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中身は食料品じゃあないか ・石油は無理そう ・冷凍食品も無理そう ・何だろう? わからない。 <p>(2) 船員の仕事や生活について興味をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・え一つ、4ヶ月から6ヶ月も ・お風呂とか、ご飯はどうしているのかな ・ご飯とか寝る所はどうしているのだろう? ・仕事は時間で交代するのか ・どんな生活をしているのかな 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ船一隻に載っているコンテナの数とその高さを知らせる。 ・コンテナの中の様子を捉えさせる。 ・コンテナを開いた写真から、輸入物を考えさせる。 ・船員さん達(船長、三等航海士、機関士)に興味を持たせる。 ・子供の発想を生かし自由に想像させる。 ・船員の仕事と生活に目を向けさせ、長期の乗船期間に驚きをもたせ、船上での生活に思いをはせさせる。 ・自分のもった疑問やもっと知りたいことをワークシート1に書かせる。
<p><子供と作りたい学習問題></p> <p>船員さん達は、どんな荷物をコンテナに積んで運んでくるのだろう?</p> <p>どんな仕事や生活をして荷物を運んでくるのだろう?</p>		

<p>5. 学習問題に対する自分の考え（予想）を決め、何をどうやって調べたら良いか考え、ワークシートに書こう。</p>	<p>5. (1)問題についての自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛肉とかをコンテナに積んで…。 ・交代で運転したり寝たりして…。 <p>(2)問題の答えを調べる方法を考え、決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の予想を、次の方法で調べる ・教科書 ・資料集で ・図書館の本で ・インターネットで 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の予想を決め、ワークシートに書かせる。 ・一人ひとりに解決の見通しをもたせる。
---	--	---

(4) 評価

- ・船や貿易について興味をもって取り組めたか。(発言で評価する) [主体的に学びに取り組む態度]
- ・学習問題を発見できたか。(発言で、ノートで) [思考・判断・表現等]
- ・学習問題に対する自分なりの考えをもてたか。(ノートで) [思考・判断・表現等]

(5) 板書計画

